

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
神戸市地域ワークショップ 報告書

日時	2020（令和2）年2月26日（水）16：00－17：00
会場	神戸市役所1号館19階市民参画推進局会議室
参加者	9名（神戸市市民参画推進局5名、推進校3名、日本体育大学1名）
プログラム	<p>16：00 開会挨拶 神戸市市民参画推進局 オリンピック・パラリンピック担当課長 浦野修平</p> <p>16：05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業について 日本体育大学 特別研究員 秋和真澄</p> <p>16：30 各推進校からの事業報告 ・大沢中学校 ・玉津中学校 ・美賀多台小学校 ・御影中学校（欠席のため代理報告）</p> <p>16：50 来年度の事業に向けて 神戸市市民参画局スポーツ振興部国際スポーツ室 上山岳史</p> <p>17：00 閉会</p>
内容	<p>はじめに、本学より、事業説明および実践事例・教材紹介、東京2020大会に係る授業参考資料・聖火リレーに関して説明を行った。神戸市は地域セミナーを開催していなかったため、特に事業概要について重点的に説明し、既存の学校教育活動の中にオリンピックやパラリンピックなどの要素を取り入れることでオリンピック・パラリンピック教育になるということを強調して伝えた。</p> <p>推進校の事業報告では、各校の事業実施報告書が配布され、実施内容および成果と課題について報告があった。3校の中学校では日本オリンピック委員会が主催している「オリンピック教室」を実施しており、事前学習として講師の競技やオリンピック・パラリンピックについて学習していた。美賀多台小学校では、ホストタウン登録国であるネパールに関する学習、ネパールパラ水泳チームとの交流会、ネパールについて学んだことに関する学習発表会と、継続的な取り組みが実施されていた。</p> <p>最後に、神戸市より来年度事業に関する説明があり、推進校の募集は4月以降になること、オリンピック教室やあすチャレ！スクールなどは来年度も継続的に募集すること、聖火リレーおよび聖火リレーフェスティバルに参加する学校・児童生徒を募集予定であることを伝えた。</p>



事業説明の様子



会場の様子